

矢口消防署からのお知らせ(4・5月号)

～家具類の転倒・落下・移動防止対策をしましょう！～

家具転対策はどうして必要？

東京消防庁が実施した近年の地震被害では、負傷者の3～5割の方々が、屋内における家具類の転倒・落下・移動によって負傷していました。

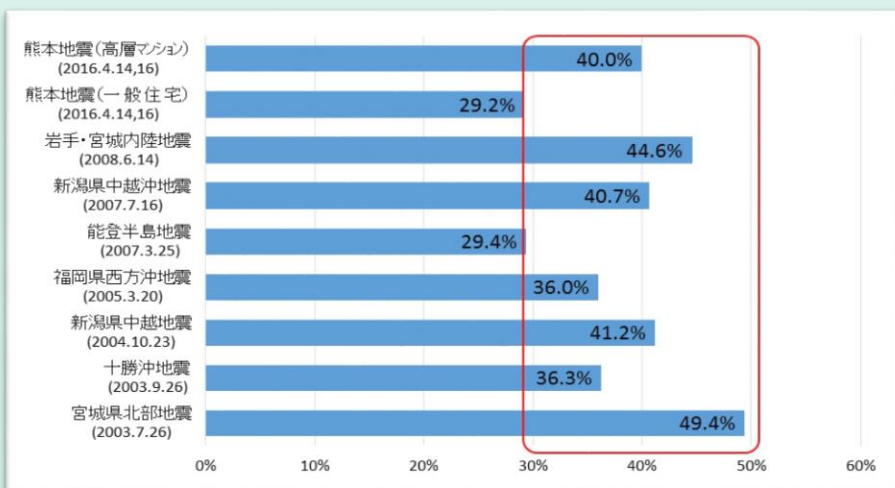
ケガだけでなく、火災の避難障害など、地震による家具類の転倒等は、そのほかにも多くの危険をもたらします。

家具転対策の必要性や方法を学んで、あなたや大切な人を守るために家具転対策を実施しましょう！

家具転とは「家具類の転倒・落下・移動防止対策」の略称です。



地震発生時における家具類の転倒・落下・移動によるけがの割合



家具転防止対策ポイント！

【家具類の転倒・落下防止対策の例】

- ベルト式冷蔵庫は壁にベルトで固定する。
- つっぱり棒(ポール)
- L型金具壁に強度が足りない場合は、あて板をつけネジが抜けないようにする。
- 扉開放防止器具
- 粘着マットやベルトなどで電子レンジを固定するとともに、台も壁に固定する。
- 連結金具上下に分かれている家具は連結する。
- ガラス飛散防止フィルム
- ストッパー式つっぱり棒を使用するときに併用する。

※家具転倒防止器具は、ホームセンターや量販店などで販売しています。
※壁にキズをつけずに、取り付けられる器具もあります。

地震前
地震対策がされていないぞ！これは危ない！

地震発生
地震発生

地震後
これはない！
ベッドの上にタンスが！

もしベッドで寝ていたら大変なことに…すぐに対策をしましょう！



STOP! 住宅火災



令和6年中は住宅火災による死者が東京消防庁管内で**19人**発生しています。

死者が発生した住宅火災の主な出火原因は、1位「**たばこ**」2位「**ストーブ**」3位「**こんろ**」4位「**コード**」です。

火災から身を守るためには、火を出さないための日頃の備えと心がけ、そして、いざ火災が起きた時の早期発見や初期消火が大切です。火災に対する日頃の備えを「**出火原因を防ぐポイント**」により今一度確認し、家族みんなで火災予防に努めましょう。

出火原因を防ぐポイント

【たばこ】

- 1 寝たばこは絶対にしない
- 2 飲酒→喫煙→うたた寝に注意する
- 3 吸殻を灰皿にためない

【ストーブ】

- 1 周囲に燃えやすいものを置かない
- 2 外出時や就寝時は必ず消す
- 3 ストーブの近くで洗濯物を乾かさない

【こんろ】

- 1 調理中に離れない
- 2 防災用のエプロンやアームカバーを使用する
- 3 火が鍋底からはみ出さないように調節する

【コード】

- 1 プラグ、コンセントは定期的に掃除する
- 2 家具などの下敷き、折れ曲がりに注意する
- 3 束ねて使用しない

#7119とは!?



病院? 救急車? **迷ったら** **#7119** はこちらもつながります 03-3212-2323 042-521-2323

電話で相談 #7119 電話 東京消防庁救急相談センター

ネットでガイド 救急受診ガイド 検索 東京版 救急受診ガイド

※ご利用には通常の通信料がかかります

東京消防庁救急相談センター

自動音声ガイダンス

医療機関をお探しの方 **1**
・近くの病院を知りたい

救急相談をご希望の方 **2**
・今すぐ病院へ行くべきか
・何科を受診すべきか 等

迷ったら

ためらわず **119番通報を!**

24時間受付 (年中無休) 救急相談センター

救急相談通信員
●医療機関案内

救急相談看護師
●医療機関案内
●救急相談

救急相談医
●相談業務における医学的判断がロケスの監視と最終決定

緊急度が異なる

緊急度が高い

緊急度が低い

緊急相談以外の相談

救急車による搬送

医療機関案内

保健医療局等が開設する窓口を案内

救急相談センターの主なサービス

- 症状に基づき緊急性の有無のアセス
- 受診の優先順位に関するアドバイス
- 東京都の医療機関の案内

救急相談として受けられない内容

- 健康相談
- 医薬品情報に関すること
- セカンドオピニオンに関すること等

判断結果によって緊急度が分かります。

赤 救急車要請 「今すぐ救急車で病院に行った方がよい」

橙 今すぐ受診 「1時間以内に病院に行った方がよい」

黄 これから受診 「0-8時間以内に病院に行った方がよい」

緑 明日には受診 「24時間以内に病院に行った方がよい」

東京版 救急受診ガイド 冊子版

携帯電話はこちらから

パソコンから 救急受診ガイド 検索 <https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>

急な病気やけがをした場合に、「今すぐ病院に行ったほうがいいのか?」「救急車を呼んだほうがいいのか?」など迷った際の相談窓口として「東京消防庁救急相談センター」を開設しています。相談医療チーム(医師、看護師、救急隊経験者等の職員)が24時間年中無休で対応しています。

※ ご利用には通常の通信料がかかります。

☆問合せ先☆

矢口消防署 03-3758-0119 下丸子出張所 03-3759-0119
西蒲田出張所 03-3737-0119 西六郷出張所 03-3739-0119